

インフラデータ管理システム

inMap

inMapは、インフラデータとマップを
組み合わせて管理。
必要なデータをマップ上で探せるから、
速い！ わかりやすい！

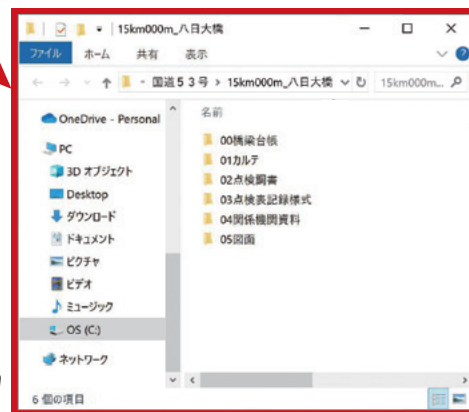
管理地域内のインフラデータ、すぐに探せますか？



マップ上でWindows® エクスプローラーが開けるから、
関連データがすぐに探せる！



- フォルダ構成はカスタマイズ可能
- 新規データはフォルダに入れるだけ
- どんなインフラにも対応



- ハイスペックなパソコンは不要
- マップデータは無償のQGIS※を使用
- クラウドでもローカル環境でも使用可能

※QGISは欧州およびその他の国における商標または登録商標です。

EJECはインフラのメンテナンスをサポートします

さらに便利な

インフラデータ管理システム

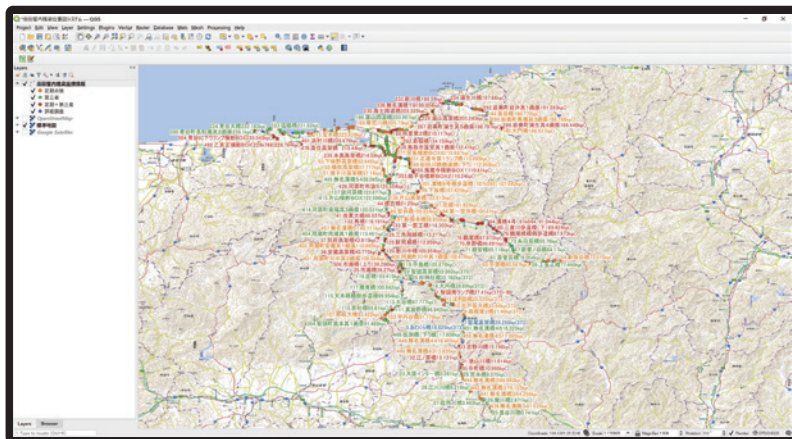
inMap

探しているインフラが一目で見つかる

管理地域内のインフラ全体を、マップで確認することができます。

インフラの基礎情報に分類(種類、健全度判定、重要度など)を追加しておけば、分類ごとに色分けして表示されます。

また、分類ごとに表示することもできるので、探しているインフラが一目で見つかり、データがすぐに開けます。



現地で確認したいインフラにスムーズにたどり着ける

現地でのインフラ確認で、探しているインフラがどれなのか、特定するのに時間がかかることはありませんか？(特に連続した同じ形状の溝橋などの場合)

inMapはインフラが座標管理されているため、GPSレシーバー(USB接続)を装着したパソコンやタブレット(Windows®)を現地に持って行けば、マップを見ながら、対象のインフラまでスムーズにたどり着けます。

もちろん、現地でデータを確認できます。



オプション ストリートビューのような感覚で、現地確認ができる

360°カメラで撮影した全天球画像を組み合わせて、3次元空間を作成するソフトウェア「KIMOTO360 Editor エイト日本技術開発機能拡張版」を追加することが可能です。

PC上でストリートビューのような感覚で、現地確認ができます。



01116-001

